

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児高次脳機能障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水・土	教室名	ことばの相談室
担 当 教 員	高松光雪／松尾 泰子	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として心身障害福祉センターに勤務経験有り。発達障害児の言語訓練を行っていた(高松)。言語聴覚士として小児通園施設で勤務経験あり。発達障害児の言語訓練を行っていた(松尾)。			
《授業科目における学習内容》						
1年後期からのことばの相談室実習を引き続き、2名1組にて症例担当し、言語聴覚療法を実施する。訓練計画書、訓練報告書(SOAP)を作成し、教員からのフィードバックを受ける。また、症例報告をまとめ、パワーポイントにまとめ報告を実施する。(卒業研究)						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験20%(デイリー、実習)=各実習毎に記載しJwebにて提出。水曜実習は金曜までに。土曜実習は月曜までに。各日9時まで。 レポート80% (症例報告書)*卒業研究発表会優秀演題者は15%増・発表者は8%増得点とする。=〆切7月29日13時まで。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:言語聴覚士のための臨床実習テキスト(小児編) 建帛社						
《授業外における学習方法》						
グループでの話し合い、不明な点は教員に報告、連絡、相談、確認を徹底して下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚士として、患者に対する責任感と謙虚且つ真摯な姿勢を学ぶと共に、訓練結果を出せるような柔軟な学習をしましょう。 社会人の基礎となる、報告、連絡、相談、確認も意識しながらチームでの学習を進めていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備	
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標/教材準備
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	(予習)指導目標/教材準備/実習記録
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジュメ	(予習)症例報告用レジュメ作成
		各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		